

府立堺支援学校



テーマ:校内体制を整備し、ICT を効果的に取り入れた学習活動の充実をはかる

概要

ICT を活用した遠隔授業の取組み

堺支援学校では、ICTの活用に向けて、情報教育部を中心に操作方法や機能について校内で研修を行ったり、児童生徒全員に Google アカウントを発行したりして、「ICT を教材として使っていける」ことをめざしています。令和3年度は、その一環として、新型コロナウイルス感染症対策で登校を控えている児童生徒や訪問学級に在籍している児童生徒に対して、これまで行ってきた授業をベースに ICT を効果的に取り入れることで、より一層充実した授業となることをめざして、研究授業に取り組みました。

実施

スケジュール

Research

5月下旬

担当者、担当指導主事で、今後の進め方について打合せ

Vision

7月19日(月)

全体会を開催

Plan

12月14日(火)

指導主事による授業見学・指導案検討

Do

12月21日(火)

研究授業

12月23日(木)

研究協議

Check & Act

1月中旬

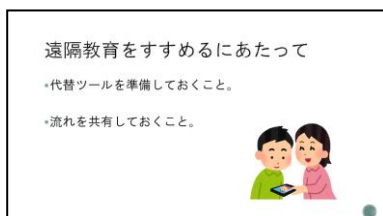
アンケート集約

全体会

7月19日(月) 「ICT を効果的に取り入れた学習活動の充実」

・支援教育推進室より(以下資料より抜粋)

学習指導要領の改訂や新しい学習指導要領がめざすものを全体で共有しました。それを踏まえたうえで、授業づくりにおいて、ICT活用の目的や効果的に活用するためのポイントを講義しました。



研究授業

学年・教科： 小学部3年 「自立活動(生活)」
 単元名： 「みーつけた! 友だち発見ゲーム」

研究協議のポイント ICT を活用した遠隔授業で、訪問学級に在籍している児童と一緒にかくれんぼをしました。授業中のカメラの使い方やモニターの配置、児童の座席配置などをどのようにすれば、友だちや学校との「つながり」をより深めることができるのかを考えました。

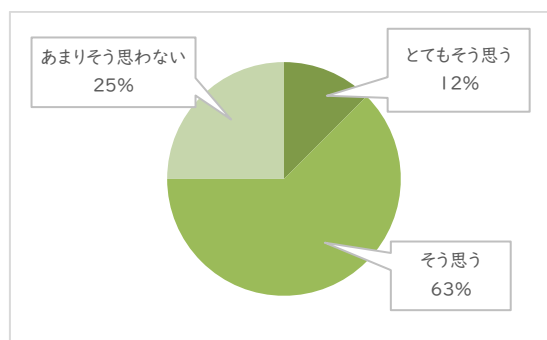


成果

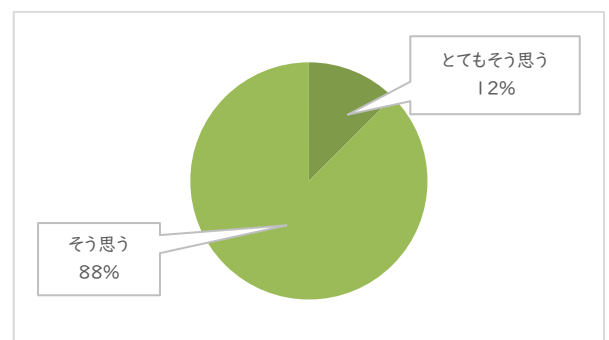
「ICT機器を活用する」というテーマで授業を考えると、機器の扱いや操作、設定方法などに対する不安から身構えてしまうことがあります。研究授業や研究協議を通して、「ICT も道具の一つ」という認識を深めることができました。授業に取り入れること、使うことが目的なのではなく、授業の目標や子どもたちの学びに効果があるかをポイントに、教材の一貫として、ICT機器を使うと操作しやすい、学びやすい、というところから取り入れてみようと考えられました。また、情報教育部の先生を中心に操作に困ったときには、すぐにかけて助け合うという校内風土が構築されていることを再認識しました。今回のパッケージ研修支援を通して、今取り組んでいることや、これまでの実践を生かしながら、ICT を活用した新しい子どもたちの学びの姿を探していきたいという期待を共有することができました。

アンケート結果

① 学校のニーズにんでいた



② 今回の成果を継続的に生かしていく



(感想より)

- ・ 「ICT」というだけで、何から取り組めば、となりがちだったのですが、「ICT」のために授業を考えるのではなく、子どもにどのような力を付けたいのか、そのために有効な道具として考える、という当たり前のようで見失いがちなことに改めて気付く機会となりました。
- ・ いろいろな先生方からのアドバイスを受けて授業づくりをすることができ、とても勉強になりました。子ども一人ひとりの活動の保障やどのようにすればカメラ越しでも楽しめるか、また学校と訪問児童が楽しさを共有するにはなど、これからの授業づくりをするうえで生かしていけることがたくさんありました。
- ・ ICT機器の使い方の工夫や、行った授業のよい点、改善点が聞け、勉強になり、参考になりました。
- ・ 今後に向け、ICT教育をどのように行っていけるのか、そのための課題はどんなことなのか等を知ることができ、勉強になりました。
- ・ 今後の取組みとして、ICT を活用したよい授業のライブラリーの作成をして、誰でも参考にできて確認できる場所をつくりたい。